

5 時代の潮流とまちづくりの課題

1 時代の潮流

① 少子化・高齢化、人口減少社会の到来

日本の人口が平成17年に戦後初めて前年を下回り、それ以降、国全体として人口の減少局面となっています。

少子化・高齢化も急速に進んでおり、生産年齢人口の減少や社会保障費の増加、地域での活力の低下などが懸念されています。

② 経済不況と地域経済を取り巻く環境の変化

世界同時不況以降の経済低迷は地域経済にも大きな影響を与えています。特に雇用環境の悪化は、若年層の就職難や経済的格差の拡大など、新たな社会問題を引き起こしています。また、経済活動のグローバル化^{*1}が進む中、国際間・地域間の競争がより激しさを増しています。

③ 環境問題の深刻化

地球温暖化対策や自然エネルギーの利用推進など、世界的規模で取り組むべき課題への早急な対応が求められています。

これまでの大量生産、大量消費、大量廃棄を根本から見直し、地球環境に配慮した低炭素社会・循環型社会への転換に向けて、国、自治体、市民、事業者、それぞれの立場での責任ある行動が求められています。

④ 価値観やライフスタイルの多様化

国際化や高度情報化の進展、就業形態の変化などに伴い、人々の価値観も多様化しています。近年では、スローライフ^{*2}やロハス^{*3}と呼ばれる、より自然や健康を意識したライフスタイルが注目されるなど、心の豊かさを重視する傾向が強くなっています。

⑤ 「新しい公共」の提唱

公共サービスを行政だけが担うのではなく、市民、NPO^{*4}法人、企業などが身近な分野におけるサービスの提供主体となり、共助の精神のもと公共を皆で担っていくという「新しい公共」のあり方が提唱されています。

また、東日本大震災を教訓に、「自助・共助・公助」それぞれの重要性が改めて問われはじめています。

*1 グローバル化：政治・経済、文化など、様々な側面で、国・地域の垣根を越え、地球規模で資本や情報のやり取りが行われること。

*2 スローライフ：[Slow Life] 時間に追われずに余裕をもって、人生を楽しもうとする概念。

*3 ロハス：[LOHAS, Lifestyles Of Health And Sustainability] 健康と環境を重視したライフスタイルの略。

*4 NPO：[Non-Profit Organization] 政府・自治体や私企業とは独立した存在として、市民・民間の支援のもとで社会的な公益活動を行う組織・団体。特定非営利活動法人。非営利組織。非営利団体。市民活動法人。市民事業体。

2 まちづくりの課題

① 「新しい公共」の構築と市民の期待

「新しい公共」の構築

- ・「公共を皆で担う」意識の醸成
- ・NPO法人や市民活動団体^{*1}、地域コミュニティ^{*2}などの役割分担
- ・各主体との連携体制の強化と公共への参画推進
- ・NPO法人や市民活動団体の活動支援
- ・地域コミュニティの活性化
- ・地域力^{*3}の向上

市民の期待

- ・若者、子育て世代を中心とした人口の誘導
- ・龍ヶ崎の知名度アップとまちの活性化
- ・自然環境や人材などの地域資源の活用
- ・真の意味での市民協働の推進と地域コミュニティの活性化
- ・高齢者の生きがい、活躍の場づくり
- ・農商工の連携による産業振興、活性化
- ・公共交通利便性の向上
- ・行財政改革の推進

② まちづくりの課題

《重点課題》

若者・子育て世代の定住促進

地域コミュニティの活性化と地域力の向上

地域資源を活用した地域活性化と知名度の向上

《個別主要課題》

- ・公共交通体系の充実
- ・買い物利便性の向上
- ・医療体制の充実
- ・地域における福祉施策の充実
- ・佐貫駅前空間の魅力付け
- ・行財政改革の一層の推進
- ・防災体制の強化

*1市民活動団体 : 市民が自らの価値観、信念、関心に基づき、自分達の生活とコミュニティへの貢献を目的に、自発的に公益活動を行う団体。

*2地域コミュニティ : 福祉、子育て、防災、防犯、環境、スポーツ、祭りなどに関わりあいながら、住民相互の交流が行われている地域社会、あるいはそのような住民の集団を指す。本市では、住民自治組織等を基礎的単位として想定している。

*3地域力 : 地域社会の問題について市民や企業をはじめとした地域の構成員が、自らその問題の所在を認識し、自立的かつ、その他の主体との協働を図りながら、地域問題の解決や地域としての価値を創造していくための力。